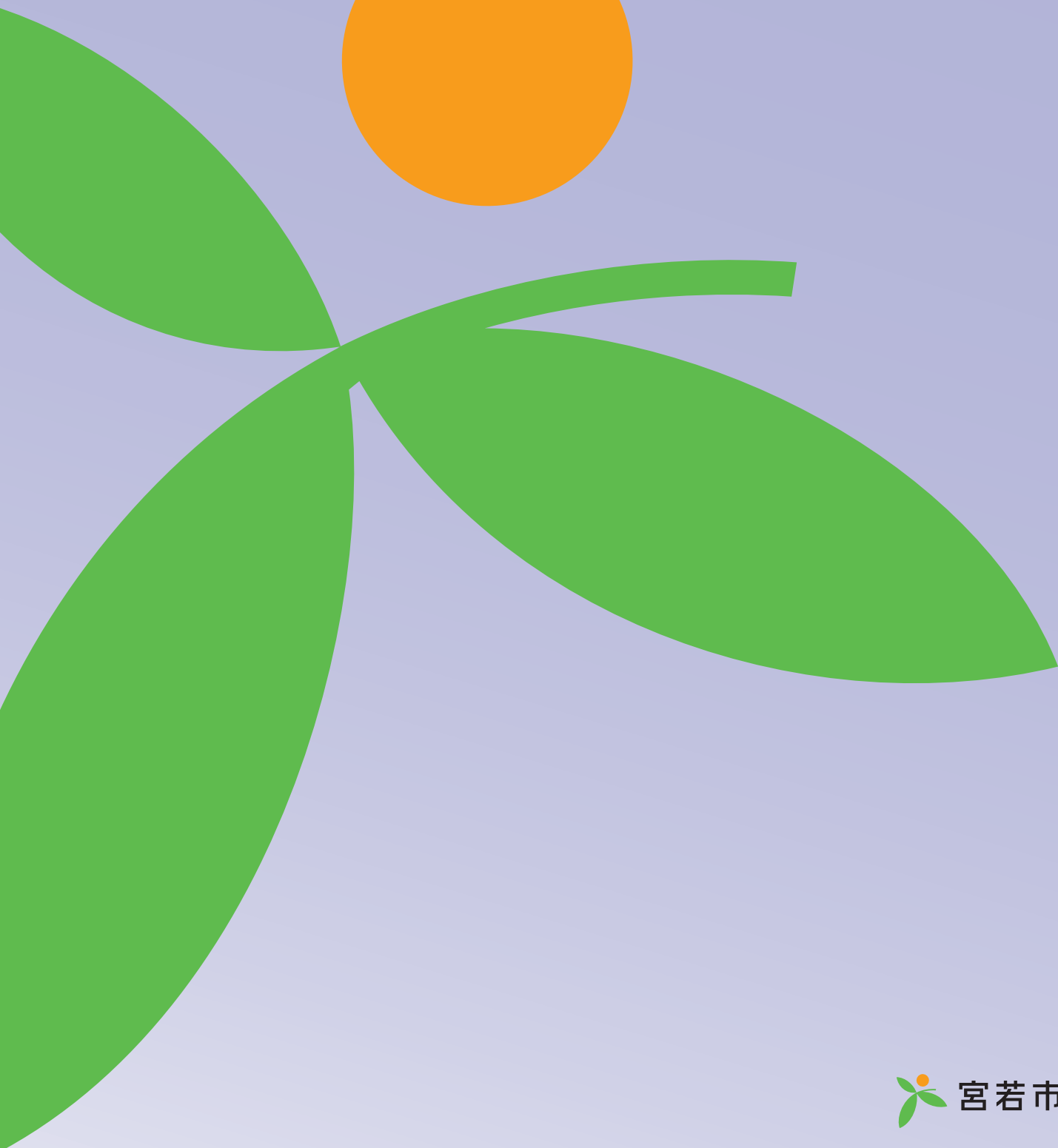


平成28年度
わかりやすい決算書

宮若市マネーブック
主要施策の成果報告書



ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆様にもまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、平成28年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しましたのでお知らせします。

平成28年度は、企業収益の増加による法人市民税の増収や、小中一貫校建設事業の完了による普通建設事業費の減少等の要因に加え、事務事業の見直し等継続した行財政改革の推進により、一般会計決算において黒字を確保することができました。

また、まちづくりのグランドデザインである「第1次宮若市総合計画」が平成29年度で区切りを迎えることから、平成28年度より「第2次宮若市総合計画」の策定に着手しました。宮若市の将来像やその実現に向けた基本目標と施策の大綱を示した“基本構想”の議決を受け、平成29年度は具体的な施策を分野別に体系化した“基本計画”の策定に取り組んでおります。

第1次総合計画の重点プロジェクトのひとつとして掲げております定住促進施策については、平成28年11月より住宅団地「光陵 WONDER! GARDENS」の分譲を開始し、子育て世代の方々を中心に市内外問わず多くの皆さんから好評を得ております。分譲を開始した90区画は概ね申込をいただいている状況であるため、引き続き定住奨励金制度などの施策と併せて広くPRを行い、完売に向けた取組を進めて参ります。

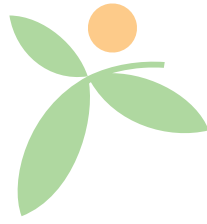
さらに、教育先進のまちづくりを進める中、施設一体型の小中一貫校、若宮小学校・宮若西中学校を平成28年4月に開校、平成29年度からの宮若西中学校区の小学校再編に伴いスクールバスを購入するなど、まちの将来を担う子どもたちの教育環境の整備を進めるとともに、中心拠点整備の核となる市役所本庁舎については、防災拠点機能を備え市民の利便性に配慮したシンプルで身の丈にあった施設として、平成31年度の完成を目標に基本・実施設計に取り組んでおります。

宮若市は市制施行12年目を迎え、次の10年を見据えた新たなまちづくりのさなかにあります。これまでに築いた都市基盤や生活基盤を礎に、宮若市にある魅力を最大限に活かし、発展させ、さらに創造しながら、一步一步着実に歩みを進めて参ります。このまちに住む皆様が「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と感じ、誇りを持てるような輝くふるさとづくりに向けてさらに邁進して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年9月

宮若市長
有吉 裕信





はじめに

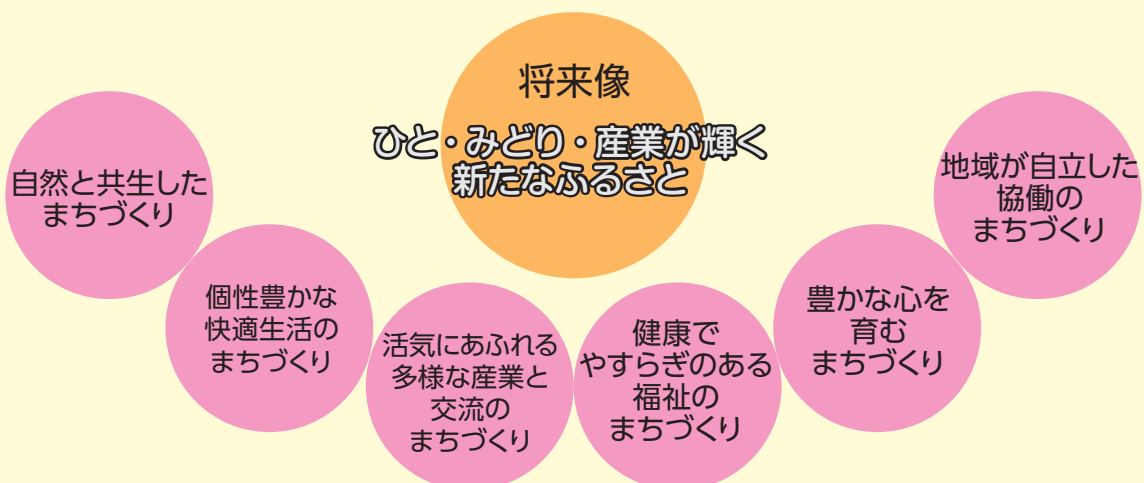
宮若市では、市民の皆様と協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆様にご覧いただいております。

このマネーブックは「第1次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どのくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く 新たなふるさと」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

まちづくりの基本方針



もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
水利用と上水道の整備	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 個性豊かな快適生活のまちづくり	9
調和のとれた土地利用の促進	
中心拠点、地区拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり	11
農林業の振興	
工業の振興	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 健康でやすらぎのある福祉のまちづくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 豊かな心を育むまちづくり	16
学校教育の充実	
青少年の健全育成	
スポーツの推進	
芸術文化活動の充実	
文化財の保護・継承	
第6章 地域が自立した協働のまちづくり	18
ふれあい交流活動の充実	
人権尊重社会の構築	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
市民参加の推進	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイヤルガイド	24
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

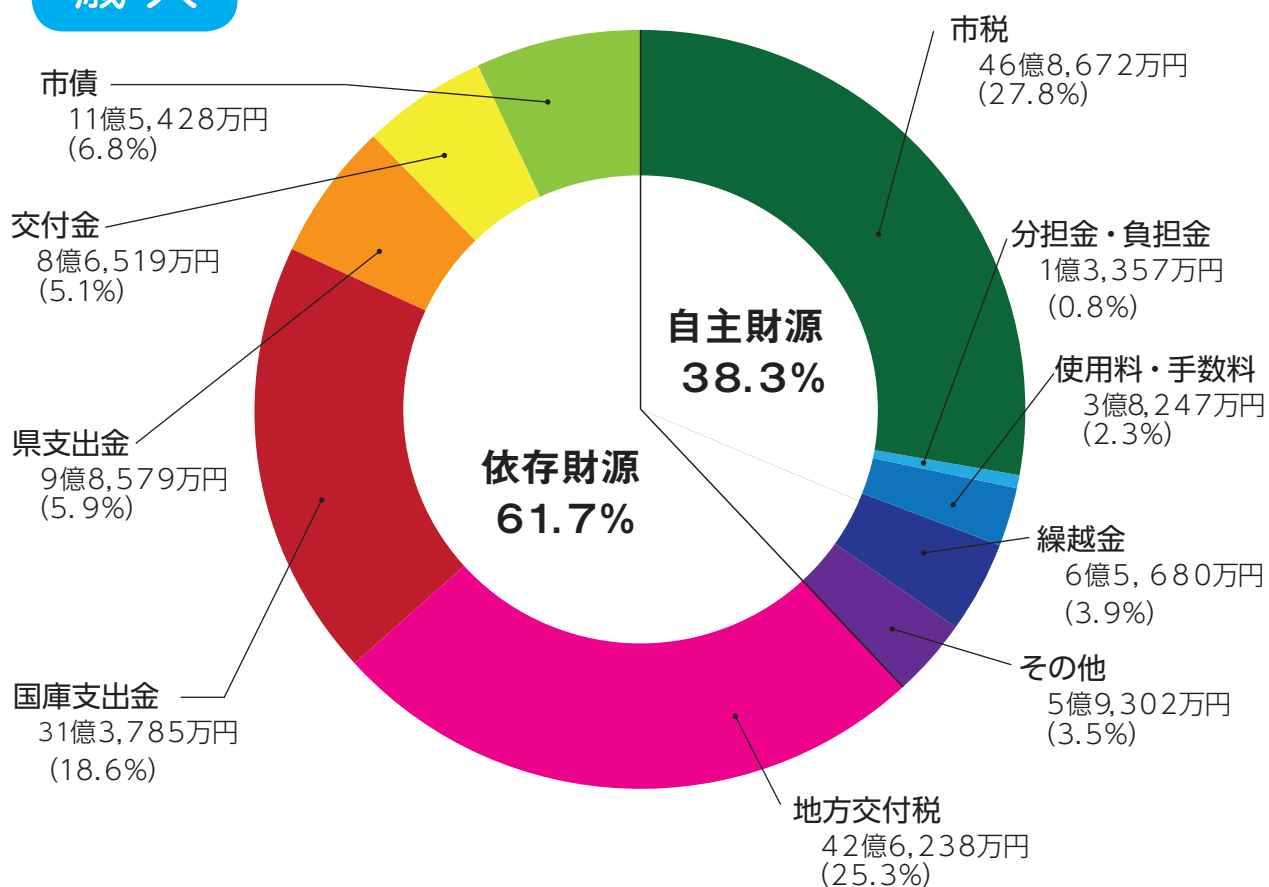
平成28年度 宮若市一般会計決算

歳入 168億5,807万円

歳出 159億6,305万円

差引 8億9,502万円

歳入



自主財源 38.3% (前年度比 +5.1%)

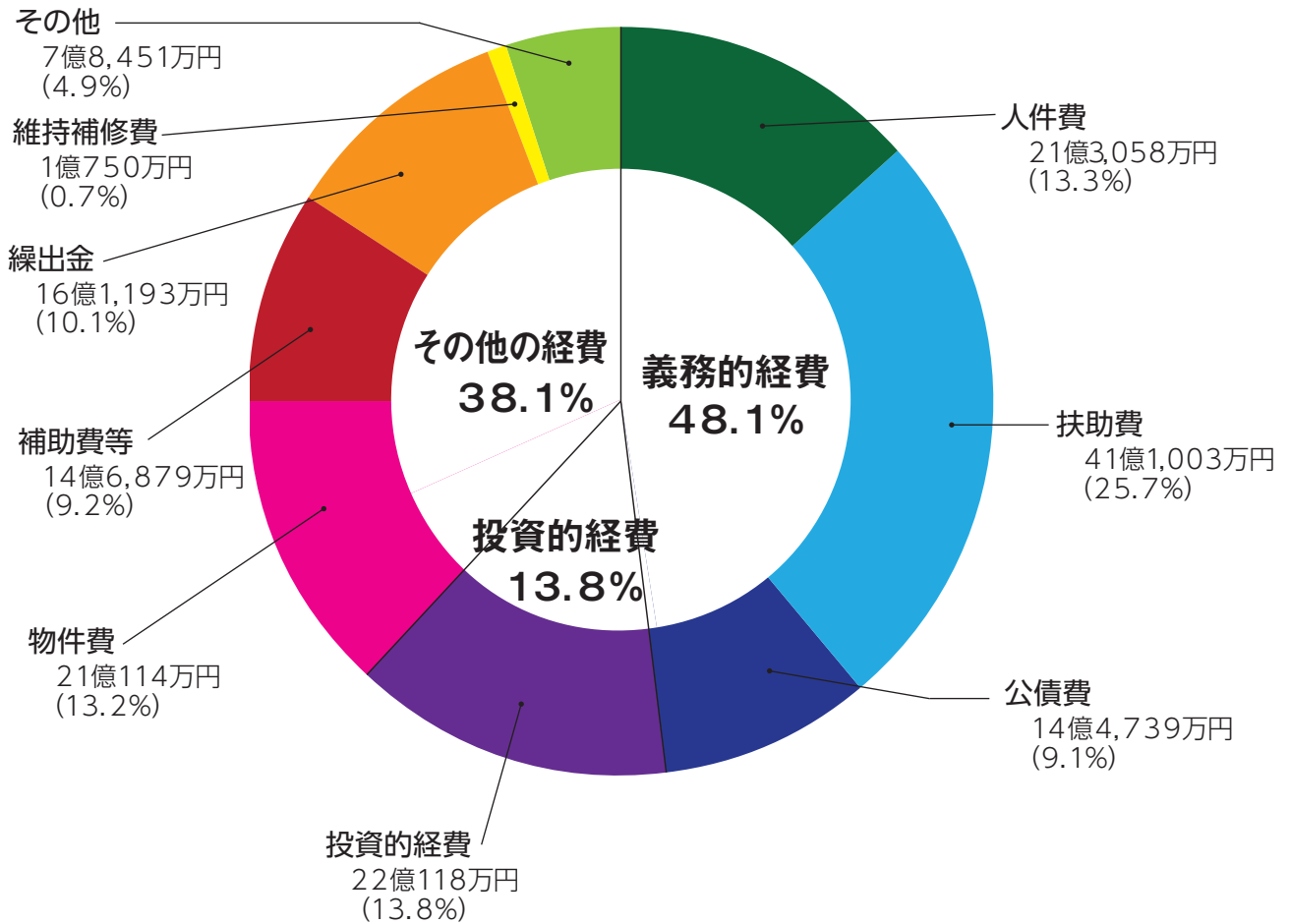
市が自主的に収入できるお金のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

法人市民税や固定資産税などの市税が増加しました。

依存財源 61.7% (前年度比 -5.1%)

国や県から交付されるお金のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。小中一貫校の整備が終了したことなどにより、国庫支出金や市債が減少しました。

歳出



義務的経費 48.1% (前年度比 +3.8%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。借金の返済を一部開始したことで、公債費が増加しました。

投資的経費 13.8% (前年度比 -8.4%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。小中一貫校の整備が終了したことにより減少しました。

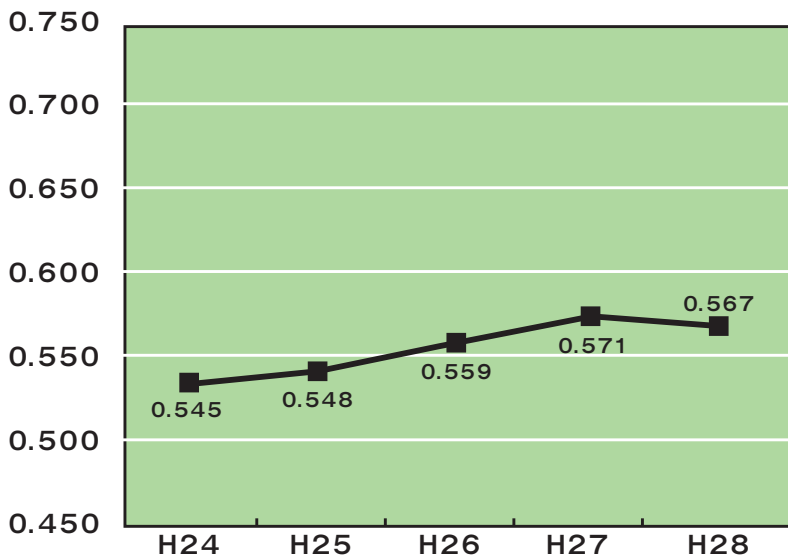
その他の経費 38.1% (前年度比 +4.6%)

施設の維持管理や賃金などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。基金への積立金を増やしたことや給食調理業務を一部民間委託したことなどにより増加しました。

グラフで見る財政状況

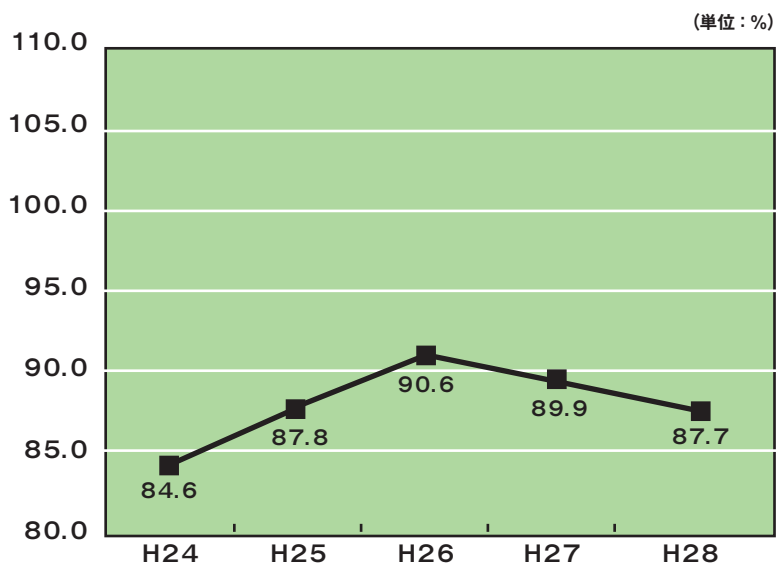
宮若市の財政状況をグラフで見てみましょう。景気の悪化や施設の建設は市の財政にどのような影響を与え、市の行財政改革による支出の削減はどのように効果が表れているのでしょうか。

財政力指数



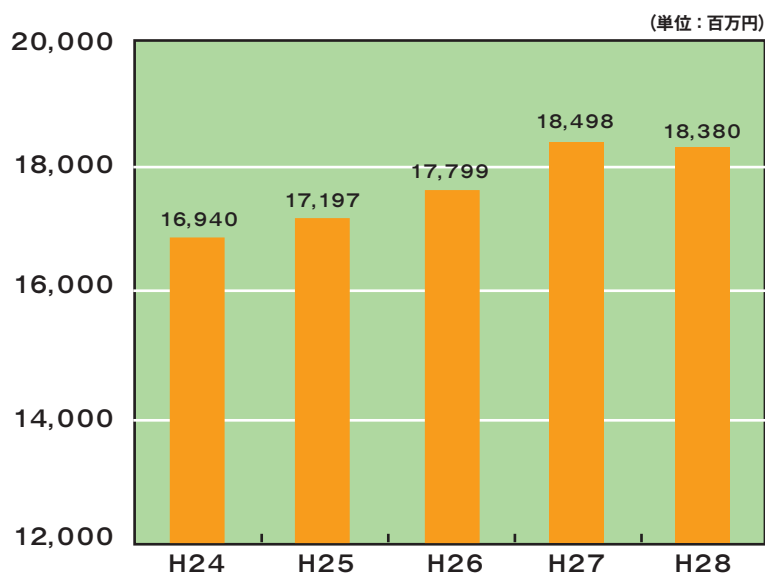
財政力指数は財源の余裕度を表しています。数値が低いほど国への依存度が高いといえます。公債費が増加したため、少し低くなりました。

経常収支比率



経常収支比率は、市税などの使途が限定されていない収入に占める、人件費などの支出が義務づけられた経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。法人市民税や固定資産税などの市税が増加し、扶助費などが減少したため低くなりました。

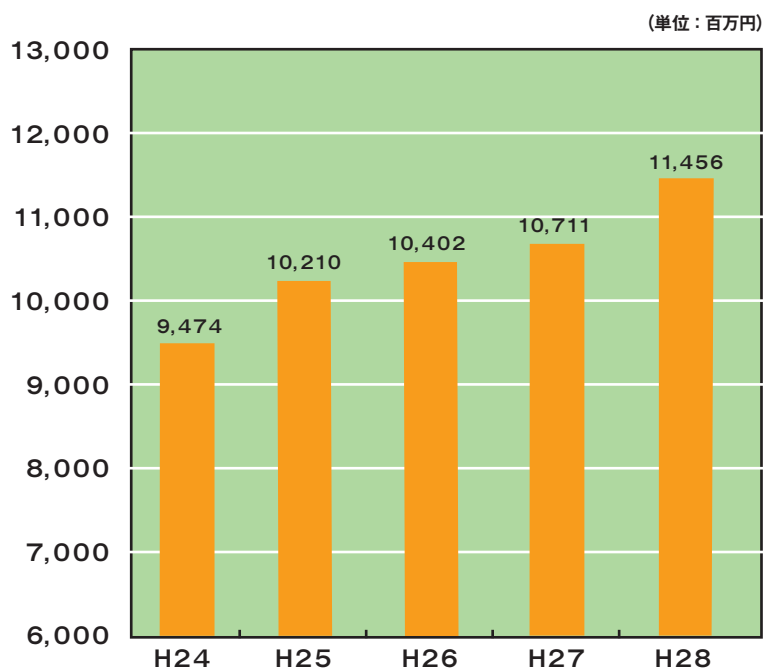
市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。

学校教育施設等整備事業債や臨時財政対策債などの借入を行いました。返済額が上回ったため、残高は減少しています。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金や減債基金、その他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

第1章

自然と共生したまちづくり

自然環境と地域景観の保全

■ 空き家等対策事業（まちづくり推進課）

529 万円

財源 市：529万円

空き家等対策については、国・県からの情報提供等を注視し、実態調査の結果を踏まえながら、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「宮若市空家等対策計画」を策定しました。

■ 不法投棄防止対策事業（環境保全課）

90 万円

財源 市：90万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板、防護柵の設置などによる不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

廃棄物処理とリサイクル対策の推進

■ ごみの減量化・リサイクル推進事業（環境保全課）

649 万円

財源 市：634万円
その他：15万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、毎月第2・第4日曜日に市役所本庁舎と若宮コミュニティセンターで行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。また、リサイクル活動登録団体へ回収1kg当たり8円の奨励金や生ごみ処理機器購入者、ダンボールコンポスト購入者に補助金を交付しました。



水利用と上水道の整備

■ 浄水施設整備事業（水道課）

2億5,852 万円

財源 国：5,175万円
その他：479万円
市：2億198万円（うち市債：1億9,210万円）

宮若市の水道水は、遠賀川水系八木山川の地下水と犬鳴ダムを水源とした上水道により供給しており、計画的に水道施設の整備を進めています。平成28年度は生見浄水場や沼口浄水場など浄水施設の整備を行いました。また、平成24年度より継続して実施している生見、神ノ隈浄水場統合整備事業において、平成27年度より（新）生見浄水場本体工事を行っています。

■ 配水管整備事業（水道課）

9,316 万円

財源 その他：393万円
市：8,923万円（うち市債：7,580万円）

各浄水場できれいになった水を運ぶための配水管を市内の各所に埋設しています。平成28年度は岩淵橋添架水道管布設外3カ所及び市内の配水管の整備・耐震化を実施しました。

下水道等の整備

■ 公共下水道建設費（下水道課）

7億117 万円

財源 国：2億604万円
その他：4,858万円
市：4億4,655万円（うち市債：2億9,060万円）

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況と併せて、詳細設計と調査などの業務を行い事業認可区域内の幹線管きよや末端管きよの整備促進を図りました。

また、遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携して整備を促進しました。

■ 合併浄化槽整備事業（下水道課）

2,052 万円

財源 国：682万円 県：682万円
市：688万円

宮若市污水处理構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進します。平成28年度は、5人槽28基、7人槽27基の合計55基の設置を図りました。

治山・治水・砂防対策の充実

■ 砂防費（土木建設課）

3,065 万円

財源 県：1,427万円
市：1,638万円（うち市債：1,420万円）

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区（金生）と脇田地区（脇田）の整備を進めました。

■ 荒廃森林再生事業（農政課）

8,007 万円

財源 県：8,007万円

森林には、木材生産だけでなく、水や酸素の供給、土砂災害防止、洪水・渇水の緩和や地球温暖化の防止などの役割があります。しかし、近年では林業不振等による森林の荒廃が進行しており、洪水や渇水、土砂災害の発生など、人々の生活に大きな影響を及ぼす恐れがあります。そのため、福岡県では、森林環境税を使った取り組みを実施しています。宮若市も未整備となっている森林の整備に向けた取り組みを行いました。



第2章 個性豊かな快適生活のまちづくり

調和のとれた土地利用の促進

■ 国土調査の実施（土地対策課）

6,157 万円

財源 国：2,154万円 県：1,077万円
市：2,926万円

平成28年度は、下有木地区の一部及び山口地区の一部の地籍図、地籍簿の作成と四郎丸地区の一部及び山口地区の一部の一筆地調査、測量を実施しました。地籍調査完了後は、国の承認を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。

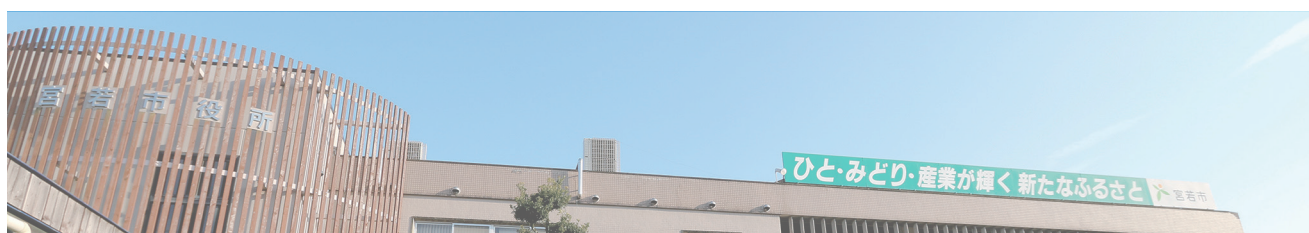
中心拠点、地区拠点の整備

■ 中心拠点の整備（まちづくり推進課）

966 万円

財源 市：966万円（うち市債：620万円）

中心拠点の整備については、議会に設置された中心拠点整備調査特別委員会をはじめとして、学識経験者及び関係機関の代表者等で構成される宮若市中心拠点整備推進協議会等の意見や提案を伺いながら、新庁舎建設に関する基本・実施設計に着手しました。



定住・住宅施策の推進

■ 住宅団地整備事業（まちづくり推進課）

3億7,334 万円

財源 国：1億2,303万円
市：2億5,031万円（うち市債：8,580万円）

定住人口の拡大を図るため、整備を進めてきた光陵団地の整備が完了しました。名称も「光陵 WONDER! GARDENS」に決定し、団地の早期完売に向けてさまざまな PR、販売促進活動を展開しました。



■ 定住促進事業（まちづくり推進課）

1億204 万円

財源 国：1,443万円
市：8,761万円

定住奨励金については、宮若市に定住するために新たに住宅等を取得した人を対象に、固定資産税相当額を奨励金として、延べ451件の交付を行いました。

また、子育て・新婚世帯家賃補助については、将来の定住者となり得る若い世代の確保を図るため、新婚世帯と転入した子育て世帯を対象に民間賃貸住宅の家賃の一部を補助しました。補助金額は、上限を月に2万5千円とし、補助期間は最長で36ヶ月としています。平成28年度は延べ295件の補助金を交付しました。



■ 住宅管理事業（建築都市課）

3,715 万円

財源 国：1,584万円 市：2,131万円

市営住宅長寿命化計画の維持管理計画に基づき、住宅の安全性確保及び長寿命化を図るために、国の補助金を活用し、新成団地外壁調査、陽の浦団地外壁改修工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられること及び市民の消費を促し、地域経済の活性化を図るため、個人住宅及び地区公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施しました。

さらに、宮若市耐震改修促進計画に基づき、木造戸建て住宅耐震改修補助金制度を引き続き実施しました。

道路・交通網の整備

■ 高齢者社会に対応した生活交通

手段の確保（産業観光課）

5,281 万円

財源 県：66万円 市：5,215万円

地域バス路線対策として、路線バス廃止代替7路線及び路線バス（JRバス・西鉄バス）並びに中学校統廃合による東部地区の通学手段確保に係る運行維持費を補助しました。

また、市内の地域公共交通を維持するため、地域の実情に即したサービスの実現に向け、宮若市地域公共交通実施計画を策定し、一部路線の見直しを行いました。

■ 道路新設改良費（土木建設課）

6億517 万円

財源 国：2億6,704万円
市：3億3,813万円
（うち市債：2億3,690万円）

幹線となる市道の大規模な新設・改良については、国庫補助事業で整備を進めており、地域や企業との調整、協力を行いながら、問題や課題を整理します。

また、市域を通過する各県道との整合性を図りながら市道高尾・水町線、小谷線、浦田・京野線、赤木・大谷線、坂元・中川原線外の整備を促進し、歩道の整備を含め、利便性及び安全性を高めました。

■ 道路橋りょう総務費（土木建設課）

466 万円

財源 市：466万円

市民と行政が協働して良好な道路環境の保全を推進することを目的とし、「宮若市道路愛護推進活動に関する資材等支給基準」により、平成28年度も制度の周知を積極的に行い、活用団体の増加に努めました。

公園・緑地の整備

■ 河川公園・2000年公園維持

管理事業（まちづくり推進課）

1,025 万円

財源 市：1,025万円

犬鳴川河川公園や2000年公園については、市民団体等との協働による管理を行うとともに、市民団体、企業、行政、学校等による多くの方々の交流の場としての活用を推進しました。

消防・防災・防犯・交通安全の充実

■ 犯罪を防止する環境整備（総務課）

782 万円

財源 市：782万円

自治会などによる防犯灯の設置を支援し、犯罪を防止する環境整備を進めました。

■ 自主防災組織の育成（総務課）

86 万円

財源 市：86万円

自主防災組織については、自助・共助・公助の基本理念に基づいた地域防災力の向上に向け、組織の設立・育成に取り組むとともに、災害時の初動対応や避難行動要支援者避難支援体制の構築を図りました。



第3章

活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり

農林業の振興

■ 営農推進対策事業（農政課）

499 万円

財源 市：499万円

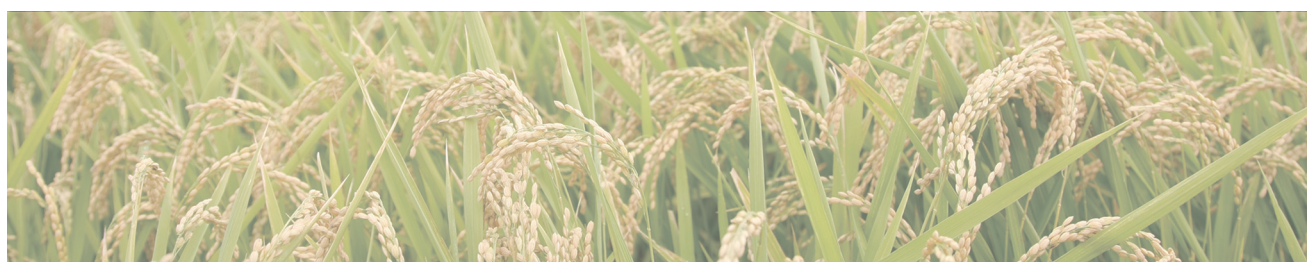
宮若市独自の事業として、農業経営力の強化を目的とし、認定農業者連絡協議会の取組や有害鳥獣対策、特産品の開発・販路拡大等に対して補助金交付を行い、組織や個別農家に対する支援を行いました。

■ 青年就農給付金（農政課）

450 万円

財源 国：450万円

農業の新たな担い手育成・確保に向けて、若年層の就農意欲を高め、その後の着実な就農定着を図るため、青年等就農計画の認定を受けた者に対し、経営の不安定な就農初期段階の支援として、青年就農給付金を給付しました。



■ 多面的機能支払交付金事業（農政課）

3,992 万円

財源 国：1,996万円 県：998万円
市：998万円

農地や農業用水などは、水を蓄えたり、洪水を防止するなど、多くの役割によって私たちの生命と財産を守っています。農業や農村が持つ役割を維持するため、農用地の保全管理をする共同活動を支援しました。



工業の振興

■ 中小企業の経営支援（産業観光課）

833 万円

財源 市：833万円

宮若商工会議所が実施する小規模事業や関係団体の育成を図るため、中小企業育成補助金を交付しました。

また、若宮商工会が実施する小規模事業と関係団体等の育成を目的に商工振興補助金を交付しました。

商業の振興

■ 特産品の開発・販路開拓の推進

（産業観光課）

640万円

財源 市：640万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者等で組織する「宮若じまん振興会」に対して補助金を交付し、販路拡大や普及促進に取り組みました。

また、宮若商工会議所と若宮商工会が実施するプレミアム付振興券発行事業を支援しました。

企業誘致の推進

■ 企業誘致活動（まちづくり推進課）

3,231 万円

財源 市：3,231万円

福岡県等関係機関と連携を図りながら企業訪問や企業立地セミナー等に参加し、誘致活動を進めました。

また、誘致企業の磯光工業団地での工場建設、操業開始に伴い、企業立地促進助成金の交付を行いました。

観光の振興

■ イメージアップ事業（産業観光課）

414 万円

財源 国：200万円 その他：214万円

宮若市のイメージアップを図るため、宣伝効果や話題性が高く、市の特産品でイメージキャラクターでもある追い出し猫を積極的に活用し、市内外のイベントや観光物産展等を通じて市の特産品や観光のPRを行いました。



■ 観光資源の整備（産業観光課）

661 万円

財源 県：76万円 その他：452万円
市：133万円

入込客と市内周遊・滞在時間を増やし、市内での消費拡大を図るため、スマートフォンなどで利用可能な宮若観光ルートナビシステムの構築と運用に向けた取り組みを支援するため、補助金を交付しました。

また、脇田温泉の観光案内看板やバス停の改修などを行い、景観の向上に努めました。



第4章

健康でやすらぎのある福祉のまちづくり

社会福祉の充実

■ 地域福祉計画の策定（保護人權課）

199 万円

財源 市：199万円

地域で共に暮らす人々が、障がいの有無や年齢に関係なく、お互いに支え合い助け合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域社会をみんなで築いていく取組を定めた計画を策定しました。

児童・母子福祉の充実

■ 子育て支援センターの運営

（子育て支援課）

1,876 万円

財源 国：691万円 県：691万円
その他：248万円 市：246万円

3カ所の子育て支援センター、さくらんぼ（さくら幼児園内）・たんぽぽ（宮若リコリス内）・たけんこ（若宮幼稚園横）については、子育て相談や親子の交流の場として地域の身近な子育て支援の拠点となるよう継続して運営を行いました。

また、さくらんぼとたけんこ、第2保育所の3カ所で実施している一時預かり事業を継続して実施しました。

■ 病児保育事業（子育て支援課）

42 万円

財源 市：42万円



病児保育は、生後4カ月から小学6年生までを対象に、その子どもが病気になった時に、保護者の就労などの理由で自宅で看病が出来ない場合に、専用の施設でお預かりする事業です。平成28年度から、宮若市・直方市・鞍手町・小竹町の2市2町での広域事業として、鞍手乳児院（鞍手町）で事業を実施しました。

■ 保育所の運営（子育て支援課）

4億8,641 万円

財源 国：1億3,303万円 県：6,674万円
その他：7,374万円 市：2億1,290万円



公立保育所及び私立保育所における通常保育や延長保育などの保育サービスを継続して実施しました。

■ 母子・父子家庭等への支援

（子育て支援課）

2億2,029 万円

財源 国：7,707万円 県：201万円
市：1億4,121万円

母子・父子家庭等の生活の安定と自立支援を促進するために児童扶養手当や高等職業訓練促進給付金等の給付を行いました。

■ 認定こども園の運営（子育て支援課）

1億1,093 万円

財源 県：8万円 その他：1,599万円
市：9,486万円

平成21年度に開設した認定こども園「さくら幼児園」において、通常保育及び延長保育などの保育サービスを継続して実施しました。

高齢者福祉の充実

■ 地域包括支援センター事業

（健康福祉課）

5,163 万円

財源 その他：5,163万円

団塊の世代が75歳以上となる2025（平成37）年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築のため、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進などに取り組みました。

■ 介護予防事業（健康福祉課）

3,465 万円

財源 その他：1,731万円 市：1,734万円

要支援・要介護状態になることを予防するとともに、要介護状態になった場合でも可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう介護予防教室を実施しました。



■ 通所型介護予防事業

要支援・要介護状態となる可能性の高い65歳以上の人を対象に、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの教室を開催しました。

■ 介護予防普及啓発事業

運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防などを目的として公共施設及び自治会などで実施する介護予防教室を通して介護予防に関する知識を習得してもらい、日常生活の中で自発的に介護予防の取組が行われるよう支援しました。

■ 介護ロボット等導入支援事業

（健康福祉課）

523 万円

財源 国：523万円

介護サービス事業者が、移動支援や見守り支援などの介護ロボットを導入する際に経費の一部を助成することで、介護従事者の負担の軽減を図るとともに、働きやすい職場環境の整備により介護従事者の確保に資することを目的として、6事業者に助成を行いました。

障がい者福祉の充実

■ チャレンジ雇用の実施（総務課）

135 万円

財源 市：135万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会として、チャレンジ雇用を実施しました。

■ 介護給付費・訓練等給付費事業

（健康福祉課）

6億9,340 万円

財源 国：3億4,670万円 県：1億7,335万円
市：1億7,335万円

住み慣れた家庭や地域で安心して充実した生活が送れるよう、訪問系サービス、日中活動系サービス及び居住系サービスなど、利用者の申請に基づくサービスを提供しました。

■ 自立支援医療給付費事業（健康福祉課）

9,224 万円

財源 国：4,612万円 県：2,306万円
市：2,306万円

障がいのある人の手術等の医学的処置や機能障がいの軽減改善を図るための医療費を給付しました。また、障がい除去・軽減する手術等、治療により確実に効果が期待できる障がいのある児童に対し、生活能力を得るために必要な医療費の支給を行う等、生活の支援を行いました。

■ 地域生活支援事業（健康福祉課）

2,991 万円

財源 国：676万円 県：338万円
市：1,977万円

障がいのある人やその保護者などに対する相談体制の確立を図るとともに、意思疎通支援や移動支援、日中一時支援、日常生活用具給付等事業、医療的ケア支援事業など、安心して日常生活が送れるような支援体制の確立を図りました。

健康づくりの推進

■ 健康診断・がん検診（健康福祉課）

1,497 万円

財源 国：16万円 市：1,481万円

生活習慣病の早期発見、重症化予防のため、18歳以上の市民を対象に健康診断及びがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん）を実施しました。



■ みやわか健康ポイント事業

(健康福祉課)

285 万円

財源 市：285万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業をポイント化し、ポイント達成者全員への記念品贈呈を行いました。

■ 妊婦健康診査 (健康福祉課)

1,912 万円

財源 市：1,912万円

母子ともに安全な出産を迎えるため、妊婦健康診査の費用を公費負担し、受診を促進しました。

また、出産後の子育てがスムーズにいくように妊娠中から健康管理の支援を行いました。



■ 予防接種 (健康福祉課)

6,725 万円

財源 市：6,725万円

感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種を推進しました。

また、宮若市の単独事業として、70歳以上を対象とした高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部助成事業を継続して行いました。

- ・三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)
- ・四種混合
(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)
- ・二種混合(ジフテリア、百日せき)
- ・日本脳炎
- ・ポリオ
- ・BCG
- ・ヒブ
- ・水痘
- ・B型肝炎
- ・MR(麻疹、風疹)
- ・インフルエンザ
- ・小児肺炎球菌
- ・子宮頸がん
- ・成人用肺炎球菌

■ 特定健康診査・特定保健指導

(市民生活課)

1,801 万円

財源 国：382万円 県：382万円
市：1,037万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査で、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。



また、受診率の向上対策として、自己負担の無料化を継続するとともに、医療機関と連携を図り、健診の結果、生活習慣病の予備軍や要受診者となる方を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。

医療の充実

■ 医療費適正化対策 (市民生活課)

8 万円

財源 市：8万円

宮若市の国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用による減額通知を実施し、普及促進に努めました。

■ 子ども医療費の助成 (市民生活課)

7,401 万円

財源 県：2,399万円 その他：405万円
市：4,597万円

子育て世帯の経済的な負担を軽減するために、就学前の乳幼児の入院・通院にかかる医療費の自己負担分を全額助成します。

また、平成28年10月から福岡県の子ども医療費助成が小学校卒業まで拡大されたことに伴い、宮若市では独自に通院・入院とも中学校卒業まで助成を拡大しました。

第5章

豊かな心を育むまちづくり

学校教育の充実

■ 宮若西小学校スクールバス購入

(学校教育課)

6,304 万円

財源 県：2,726万円 市：3,578万円

宮若西中学校区の小学校再編に伴い、遠距離となる児童等の通学手段として、平成29年度から宮若西小学校(小中一貫校)のスクールバス運行を開始するためのバスを購入しました。



■ 確かな学力の育成 (学校教育課)

1,596 万円

財源 県：70万円 市：1,526万円

学力向上については、学力向上プロジェクトE事業を中心として、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成並びに学習意欲の向上や学習習慣の定着など、確かな学力を育成する様々な事業を実施しています。

平成27年度より実施している放課後学習「みやわかアフタースクール」を5小中学校に広げ、子どもたちの学習支援を行いました。また、教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」を開催、学力実態調査・体力実態調査を実施、サタデー・ピア・スクール(国語、算数のドリル学習及びトヨタ自動車九州株式会社の協力を得たサイエンス・スクール)を実施しました。

また、児童生徒の学力向上と、開かれた学校づくりの推進のために、土曜日授業を実施しました。



■ 宮若市立小中一貫校の整備

(学校教育課)

3億7,515 万円

財源 国：2,013万円

市：3億5,502万円

(うち市債：2億1,170万円)



平成26年度から27年度にかけて新校舎の建設を行い、平成28年4月に開校した小中一貫校について、宮若西中学校の旧校舎等を解体し、第1グラウンド及び部室棟の整備を行い、小中一貫校の建設に関する事業を完了しました。

■ 教育施設の適正配置 (学校教育課)

2,022 万円

財源 県：738万円 市：1,284万円

学校等整備計画に基づき、宮若西中学校区の小学校5校の再編に向けて、各学校長及び保護者で組織している小学校再編準備委員会を開催して、通学手段や校名・校歌・校章等の決定など、新設する宮若西小学校開校に向けて、準備を進めました。

■ 教育相談員配置事業 (学校教育課)

1,166 万円

財源 市：1,166万円

いじめや不登校、暴力行為などの諸問題の未然防止や児童生徒、保護者の教育相談の充実を図るため、教育相談員、SSW(スクールソーシャルワーカー)及びスクールカウンセラーを配置し、学校における様々な生徒指導問題に対応できるように努めるとともに、不登校児童生徒対策として教育支援センター(適応指導教室)に、主任指導員や指導員を配置し、学校に行けない児童生徒の学校復帰の支援を行いました。

また、障がいのある幼児、児童生徒に適切な就学指導を行うため、発達検査およびカウンセリングを行うカウンセラーを配置し、子どもたちが円滑な学校生活を送ることができるよう支援を行いました。

■ 小中一貫校の給食調理業務

委託事業（学校給食課）

2,015 万円

財源 市：2,015万円

若宮小学校と宮若西中学校（小中一貫校）が平成28年4月に開校したことに伴い、小中一貫校及び若宮幼稚園の給食調理等業務を民間委託しました。



■ 青少年の健全育成

■ 宮若リコリスを活用した生涯学習の充実（社会教育課）

166 万円

財源 市：166万円

青少年健全育成事業の一環として、青少年育成市民会議をはじめとする関係団体と連携し、地域が一体となって生涯学習の拠点施設であるリコリスを主会場とした「リコリス子どもまつり」を開催しました。

■ スポーツの推進

■ 光陵グリーンパークの整備

（社会教育課）

5,118 万円

財源 国：2,498万円
市：2,620万円（うち市債：2,240万円）

光陵グリーンパークは、平成27年度までに光陵グリーンスタジアム（野球場）、多目的グラウンド、クラブハウスが完成し、平成28年度については、多目的グラウンド周辺の整備を行いました。



■ 芸術文化活動の充実

■ 地域住民のためのコンサート

（社会教育課）

63 万円

財源 市：63万円

心豊かに生活するため、多くの市民に優れた芸術文化に親しむことができる鑑賞機会の提供を図るため、地域住民のためのコンサートを開催しました。

■ 宮若市文化祭（社会教育課）

87 万円

財源 市：87万円

市民及び市内文化団体の日頃の芸術文化の成果を発表する場として、宮若市文化連盟との共催で宮若市文化祭を開催しました。



■ 文化財の保護・継承

■ 竹原古墳保存整備計画（実施設計）の策定（社会教育課）

1,314 万円

財源 国：600万円 市：714万円

国指定史跡竹原古墳を広く共有の財産として後世に残していき、保存整備や環境整備を推進するため、竹原古墳の墳丘及び石室内部の保存を中心に保存整備計画（実施設計）を策定しました。



第6章

地域が自立した協働のまちづくり

ふれあい交流活動の充実

■ 3者協定に基づく海外交流事業

(総合政策課)

192 万円

財源 市：192万円

トヨタ自動車九州(株)、宗像市及び宮若市の地域連携事業の取り組みとして、市内在住の中高生を海外に派遣するプログラムを実施しました。現地のホストファミリーや同世代のバディとの交流や日本のことを伝えるプレゼンテーション等を通じて将来を担うグローバルな人材の育成に取り組みました。



平成28年度は、12名(宮若市枠5名、宗像市枠5名、トヨタ枠2名)の中高生をカナダに派遣しました。

人権尊重社会の構築

■ 人権講演会・地域懇談会開催事業

(社会教育課)

31 万円

財源 県：13万円 市：18万円

人権問題に対する正しい理解と認識を深めるため、人権講演会、人権問題地域懇談会を開催しました。

地域コミュニティの形成

■ 職員地域担当制度 (まちづくり推進課)

110 万円

財源 市：110万円

自治基本条例に基づく職員の地域担当制度については、市内各ブロックで地域と職員が協働し、様々な行事、イベントを実施しました。

地域情報化の推進

■ 社会保障・税番号制度の円滑な運用 (総務課)

2,390 万円

財源 国：913万円
市：1,477万円

平成28年1月からマイナンバー制度の運用が開始され、市の行政事務において法律や条例に定められた範囲で個人番号が利用されています。平成28年度は、平成29年7月から開始される国や県、他市町村との情報連携に向けて、業務システムの改修や総合運用テストを実施し、円滑な運用を行うための体制整備を行いました。

市民参加の推進

■ 広報広聴の充実 (総合政策課)

1,062 万円

財源 国：531万円 市：531万円

行政情報の発信については、広報紙発行と併せ、市民の生活スタイルに応じた広報媒体との併用による情報発信が不可欠で



す。市公式ホームページのリニューアルについては、施策等の効率的・効果的な情報発信に対応し、情報を活用することで市政への市民参画を促すため、スマートフォン対応やトップページデザイン的大幅な変更、情報分類の見直しなど、利用しやすくわかりやすいシステム構築を行いました。

また、新しいまちのイメージを定着させるための具体的な計画「宮若市イメージアッププラン」に基づき、インターネット検索連動型広告や新聞など様々な媒体を活用した情報発信を行いました。

■ 地番現況図等更新業務 (税務収納課)

788 万円

財源 市：788万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新と平成30年度評価替えに向けての土地評価見直し業務を行いました。

■ 固定資産(土地)評価替えにおいて活用する標準宅地鑑定評価業務 (税務収納課)

1,265 万円

財源 市：1,265万円

平成30年度固定資産評価替えにおいて活用する宅地等の「適正な時価」を求めるため、市内全域の標準宅地について、平成29年1月1日現在における不動産鑑定評価業務を行いました。

■ 固定資産(土地)評価の価格修正に伴う標準宅地時点修正業務 (税務収納課)

132 万円

財源 市：132万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を鑑定評価により求め、市内全域の宅地等について価格修正を行いました。

■ 公共施設等総合管理計画の策定 (まちづくり推進課)

513 万円

財源 市：513万円

人口減少が進む中、国においても公共施設の老朽化対策を喫緊の課題と位置付けており、宮若市においても国からの要請を受け、長期的な視点をもって更新や統合及び長寿命化などを計画的に行うための「宮若市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

■ 収納率の向上及び滞納対策の強化 (税務収納課)

65 万円

財源 市：65万円

収納率の向上のために、資力のある滞納者に対して、動産及び不動産の差押を積極的に行い、公売会などを活用しました。また、ファイナンシャルプランナーによる多重債務者のための過払い利息分の返還など、法律相談や家計改善の指導などに取り組み滞納整理を行いました。

■ 第2次宮若市総合計画の策定 (総合政策課)

419 万円

財源 市：419万円

平成28年度から平成29年度の2カ年をかけて、計画期間を平成30年度から平成39年度までの10カ年とする「第2次宮若市総合計画」を策定します。平成28年度は、市民意識調査等を実施し、基本構想の策定に着手しました。

■ 宮若市輝くふるさと応援寄附金制度 (総合政策課)

1,766 万円

財源 市：1,766万円

宮若市のまちづくりに賛同する方からの「ふるさと納税制度」による寄附金を財源に、特色あるまちづくりを進めます。平成28年度は、外部ポータルサイトの導入やクレジット決済機能の追加のほか、寄附をいただいた皆さんに送る返礼品の充実などに取組みながら、宮若市をPRしました。



資料. 決算概要

一般会計

歳入総額 168億5,807万円

歳出総額 159億6,305万円

差引残額 8億9,502万円

歳入

款	決算額
1 市税	46億8,672万円
2 地方譲与税	1億5,976万円
3 利子割交付金	241万円
4 配当割交付金	788万円
5 株式等譲渡所得割交付金	524万円
6 地方消費税交付金	5億8,299万円
7 ゴルフ場利用税交付金	4,601万円
8 自動車取得税交付金	4,254万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	173万円
10 地方特例交付金	1,082万円
11 地方交付税	42億6,238万円
12 交通安全対策特別交付金	581万円
13 分担金及び負担金	1億3,357万円
14 使用料及び手数料	3億8,247万円
15 国庫支出金	31億3,785万円
16 県支出金	9億8,579万円
17 財産収入	2億8,762万円
18 寄附金	6,757万円
19 繰入金	2,024万円
20 繰越金	6億5,680万円
21 諸収入	2億1,759万円
22 市債	11億5,428万円

歳出

目的別

款	決算額
1 議会費	1億6,365万円
2 総務費	25億5,671万円
3 民生費	62億2,186万円
4 衛生費	11億2,080万円
6 農林水産業費	5億4,072万円
7 商工費	2億6,161万円
8 土木費	14億8,984万円
9 消防費	5億4,532万円
10 教育費	15億9,907万円
11 災害復旧費	1,608万円
12 公債費	14億4,739万円

性質別

区分	決算額
人件費	21億3,058万円
扶助費	41億1,003万円
公債費	14億4,739万円
物件費	21億114万円
維持補修費	1億750万円
補助費等	14億6,879万円
繰出金	16億1,193万円
積立金	7億6,451万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	22億118万円

国民健康保険特別会計

歳入総額	38億1,348万円
歳出総額	42億5,874万円
差引残額	-4億4,526万円

歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億7,273万円
2 使用料及び手数料	36万円
3 国庫支出金	9億7,692万円
4 療養給付費等交付金	8,308万円
5 前期高齢者交付金	7億7,969万円
6 県支出金	1億8,586万円
7 共同事業交付金	9億943万円
9 繰入金	2億9,978万円
11 諸収入	563万円

歳出

款	決算額
1 総務費	5,229万円
2 保険給付費	23億1,133万円
3 後期高齢者支援金等	3億8,041万円
4 前期高齢者納付金等	28万円
5 老人保健拠出金	1万円
6 介護納付金	1億4,845万円
7 共同事業拠出金	9億2,202万円
8 保健事業費	1,825万円
11 諸支出金	275万円
13 繰上充用金	4億2,295万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億1,447万円
歳出総額	4億 725万円
差引残額	722万円

歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	2億7,353万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,382万円
4 繰越金	707万円

歳出

款	決算額
1 総務費	244万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億380万円
3 諸支出金	42万円
4 保健事業費	59万円

住宅新築資金等特別会計

歳入総額	1,529万円
歳出総額	487万円
差引残額	1,042万円

歳入

款	決算額
1 貸付回収金	378万円
2 県支出金	19万円
3 財産収入	132万円
5 繰越金	1,000万円

歳出

款	決算額
1 総務費	17万円
2 基金積立金	132万円
3 公債費	338万円

簡易水道事業特別会計

歳入総額	9,884万円
歳出総額	9,775万円
差引残額	109万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	266万円
2 使用料及び手数料	4,176万円
3 繰入金	4,700万円
4 繰越金	63万円
5 諸収入	679万円

歳出

款	決算額
1 総務費	1,349万円
2 事業費	2,804万円
3 公債費	5,622万円

公共下水道事業特別会計

歳入総額	9億4,650万円
歳出総額	9億1,414万円
差引残額	3,236万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	3,895万円
2 使用料及び手数料	2,855万円
3 国庫支出金	2億6,503万円
5 財産収入	12万円
6 繰入金	2億7,472万円
7 繰越金	3,890万円
8 諸収入	963万円
9 市債	2億9,060万円

歳出

款	決算額
1 総務費	7,930万円
2 公共下水道建設費	7億117万円
3 公債費	1億3,367万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	1,989万円
歳出総額	1,803万円
差引残額	186万円

歳入

款	決算額
1 財産収入	1,913万円
2 繰入金	50万円
3 繰越金	9万円
4 諸収入	17万円

歳出

款	決算額
1 総務費	60万円
2 財産費	1,743万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入 5億3,995万円

区分	決算額
給水収益	4億610万円
受託給水工事収益	5,401万円
その他営業収益	22万円
負担金	1,638万円
他会計補助金	75万円
水道加入金	563万円
長期前受金戻入	5,336万円
雑収益	77万円
その他特別利益	273万円

支出 4億8,615万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1億3,701万円
配水及び給水費	7,652万円
受託給水工事費	5,428万円
総係費	4,150万円
減価償却費	1億4,271万円
支払利息及び企業債取扱諸費	3,352万円
特別損失	61万円

(2) 資本的収入及び支出

収入 3億2,838万円

区分	決算額
企業債	2億6,790万円
他会計補助金	327万円
負担金	547万円
国庫補助金	5,174万円

支出 4億6,299万円

区分	決算額
建設改良費	3億5,168万円
固定資産購入費	661万円
企業債償還金	1億470万円

宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務グループ	職員の人事、給与、研修、福利厚生、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	
	情報推進係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策など	32-1072
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	
	契約検査係	契約、請負業者の指名及び入札など	32-0761
市民生活課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地、家屋及び償却資産の評価、賦課など	
	納税管理係	市税、国民健康保険税の徴収及び市税等諸証明の交付、税及び料の滞納対策全般など	32-1008
総合政策課	秘書・政策推進グループ	表彰、市長及び副市長秘書、広報、総合計画、広域行政、人材育成、まちづくり出前講座、国際交流、ふるさと納税など	32-0512
	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債、行財政改革など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園、空き家・空き地対策、企業誘致など	
	拠点整備推進係	拠点整備の促進など	32-0773
子育て支援課	子育て支援係	児童及び母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談など	32-0517
	幼児育成係	保育所・認定こども園維持管理・運営、学童保育など	
健康福祉課	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0515
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	
	健康対策係 (保健センターパレット)	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	55-6000
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	民生・児童委員、人権・同和対策、男女共同参画、隣保館、日本赤十字社事業、住宅新築資金など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石等観光資源、犬鳴ダム周辺公園など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、土地収用法、地価公示法、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	32-0566
建築都市課	建築都市グループ	都市計画、建築協定、景観、緑化対策、市営住宅の建設・維持管理など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	
	建設係	土木施設の新設改良工事など	32-0799
	農業土木係	農業用施設等の新設・改良・維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業、力丸用水など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	
	給水係	水道の給水など	32-1005
	浄水係	浄水場の維持管理など	
学校教育課	管理係	小中学校・幼稚園の施設整備及び維持管理など	32-1007
	学校教育係	児童・生徒の就学、奨学金、通学区域など	
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進グループ	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
学校給食課	学校給食係	学校給食、給食センターなど	32-0715
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員及び公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民課	市民福祉グループ	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、オフトーク放送、児童及び母子福祉、人権・同和対策、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市市民憲章

宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

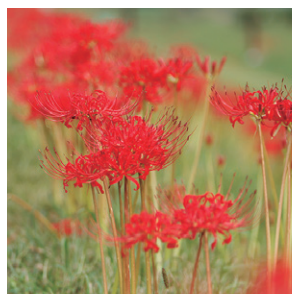
共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。




市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。



宮若市役所 総合政策課 秘書・政策推進グループ
〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1
TEL 0949 (32) 0512
FAX 0949 (32) 9430
URL <http://www.city.miyawaka.lg.jp/>
E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp